

最近の修学旅行について思う

菅田 震五

この一、二年、平和教育の名のもとに小・中・高の広島行き修学旅行が爆発的に流行している。三十七年前、敗戦を迎えた日本国民には平和憲法のもとに戦争は再び繰り返さぬとの反省があり、原爆投下地の広島を訪れることにより、その残虐さ、悲惨さをこの目で観ることから、平和教育の第一歩が始まるという考え方があつた。ところが現状はどうだろうか。旅費は高く、宿舎は中・高生で占められ、小学生の入り余地はほとんどない。コースとしても広島平和公園(原爆資料館等)が中心となり、宮島の厳島神社、

ついでに、馬に大阪歌舞伎の風習が今日までの五十鈴川の清流かすいすいと遊ぶ魚の姿であり、今になおまきまき目に浮ぶ。近畿地区でこれほどの近距離で、伊勢詣を除いても、海と山と川の自然の豊かさ、学習環境の良さ、伝統ある宿舎のサービス、交通費の低廉さ等々、ゆつたりした修学旅行は外にはないのではないか。

一方、近畿・東海地区校長会で組織する伊勢方面「あおぞら号」は昭和三十七年来、今日まで二十二年間、走る社会科教室として、延べ三百万余名を安全かつ経済的に輸送している。

伊勢方面といえば、戦前の国家主義的イメージが強いが、戦後は自然破壊が続く中で、神宮を中心とする自然環境は昔のまま存続している。五十年前、私の小学校修学旅行の記憶に残る。私小学校修学旅行の記憶に残る。私小学校修学旅行の記憶に残る。

著書きの彫り跡を残しているのをさがさながら四〇分のアール・バートで下山可能とか。芭蕉の奥の細道の記述にある句碑あり、歴史博物館もある。関修委の現地研修の情報をキャッチし、山形放送が取材に登って居り、撮影、インタビューに応ず。ニュースで流すとか。地元で修学旅行の熱意を感じる。

天童民芸館 NHK連続テレビ



【二日目】 致道博物館(羽黒山)草薙最上川ウオータージョー

致道博物館 鶴ヶ岡城跡の一角に酒井氏が庄内藩の御用屋敷と藩校「致道館」資料も寄附され博物館としたもの、民具の蔵、「海と川の漁撈と漁具」が出色、途中、善宝寺なる曹洞の寺へ立寄った。五重の塔のある立派な構えだった。

羽黒山 鶴岡から五〇分、出羽三山の二つ海抜四一九米、修験道の神山、社殿神社、杉材漆塗屋根は青瓦、国宝の五重塔、鐘楼、供養塔など、神仏習合時代の名残をとどめる。山伏の吹きさらすホラ貝に先頭され、約一時間の見学、バスで下したのが生徒引率の場合は三四天段の石段と敷石道を歩かせるのも一興、さほど難路ではない。右段に石工が盛とかいっけり等々



新しい修学旅行を

日本海側・太平洋側を結ぶ

埼玉県飯能市立 加治中学校長 澤田 克郎

「雲の降いくつ崩れて月の山」へも八百まで、バスで四〇分と、法蔵院が老杉にひびく羽黒山山伏が吹く獅子吼たかまじ草薙 最上川舟遊びを楽しむ。白糸の滝ドライブインを築き、着基地として、ウオータージョー船で往復六〇分の上下、川あり、芭蕉がくたつた最上川

「いちはん星」の佐藤千夜子の生家を訪ねたり、将棋の駒影、実演その他民具等所せましと展示、現在個人のコレクション。自治体等は関係機関でテラックスなものは、向後の対応を期待する。紅花の山形路、ガイド数々の高山植物、登るにつれて樹種のおがいを認める植生、平地の生徒にはいい理科分野の学習の場だ。お釜は神秘的な水



千古の昔から、世俗をはらった山伏の修験道の一たんがしのばれる羽黒山にて説明をうける現地研修会メンバー(東松山市南中学校長・笠原芳一氏ら)

きに行き気がしなかつた経験があるから、この修験道快晴の山に眼をつみ打ったものだった。雨では山は様にならない。主峰熊野岳(二八四〇米)を中心に、変化に富んだ火山地形、数々の高山植物、登るにつれて樹種のおがいを認める植生、平地の生徒にはいい理科分野の学習の場だ。お釜は神秘的な水の

をたてた。八幡平裏磐とると必然的にここが宿泊地に最適条件を地理的、時間的に備えている。東北の暖い人情、食べ物、自然も貴重な財産であるが、これだけが売り物ではない。雨にも風にも強い施設等の開発は非静かにいそいそでもらう。五〇名収容のホテルが数軒誘引、十年河清を見る東北人だけに積極的、然し未だ修学旅行の特のねばり強さが必ずや、そのなるもの本質的理解が不十分のきらいあり、雪にこだわり、スキー、スキーという言葉が聞かれた。樹木の蔵王また結構だが上越 東北線の周遊コースを

全体的にレベルアップ

北海道 矢追豊子さんが入賞



「朝の砂丘」 北川 瑤子(福島県)

研修旅行・入賞作品

助全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)企画の本年夏季教職員研修旅行・作品(写真・原稿)募集は、写真百七十六点、紀行文・句などの作品七点の応募作品により、十一月五日審査会(大阪事務所)に於いて開き審査の結果、次の通り、写真作品の入賞が決定された。なお、「推せん」「特せん」の該当作品はなく、今回は見送られた。

入選(賞状・図書券)

- ▼「朝の砂丘」北川瑤子(福島県双葉郡浪江町佐屋前三)
- ▼「信仰あつき台湾女性」鶴沢芳枝(千葉県東金市田間六九ノ七)
- ▼「十和田湖遊覧・かきと山」藤木清子(大阪府羽曳野市羽曳ヶ丘西一四一四七)

北海道知事賞(賞状)

- ▼「日の出に映える阿寒湖」矢追豊子(奈良市中町二四〇)
- ▼北海道一周テラックスコース

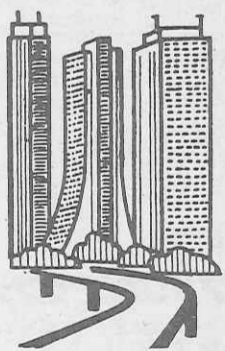
北海道観光連盟賞(賞状)

- ▼「銭ッ子大事」又慈君子(福井市四ツ井一一九一三)
- ▼北海道一周テラックスコース

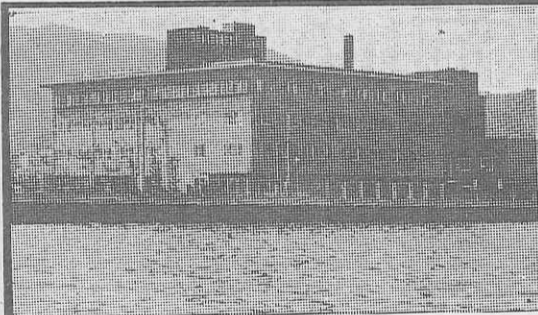
【総評】全体的に被写体人物

の自然なポーズがよい。色調も自然な落ち着いた色合いがよい。ピンボケの写真がほとんどなかったことが、全体的にレベルアップにつながっていると思う。(応募作品の数は昨年より少ないが、風景写真にはもう少し立体感を表現する工夫、また中心になる人物を角度をかえて撮る工夫と余裕が必要ではないか(審査委員長・園部昭三)

首都東京を見て、何かを!



学校単位の貸切りで
ご利用下さい
30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-813-9381

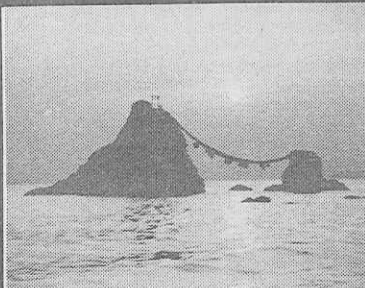


いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ

- 収容 600名様
- 浴場 150名様
- 設備 全館冷暖房
- 防災 諸設備完備
- 駐車場 バス20台

政府登録 国際観光旅館 **びわ湖ツーリスト・ホテル**
大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321

修学旅行生のための街、憩いと安心の宿 二見浦へ!



修学旅行をおうけして 70年余

全旅館(適)マーク交付済み (TEL 05964)

朝日館 3-2001	大田館 3-2025	二見館 3-2003
麻野館 3-2014	海洋楼 3-2221	富士見館 3-2515
伊勢屋 3-2008	紅葉館 3-2006	松坂屋吸霞園 3-2007
伊岩戸館 3-2122	清海 3-2046	松嶋館 3-2009
いろは館 3-2024	潮香苑 3-2303	松新 3-2019
浦島 2-1011	日章館 3-2175	(アイウエオ順)
大石屋 3-2074	浜千代館 3-2050	二見町旅館組合 3-2331

